

FM.クマガヤ株式会社 第16回番組審議会議事録

1 開催年月日 令和5年1月25日(水)12時00分～13時00分

2 開催場所 和とう肥塚店

3 委員出席

委員総数	5名
出席委員数	4名
審議委員	長谷川隆一 小林義治 山下祐樹 武田隆子
放送事業者	栗原謙一 宇野元英 影山琢也

4 議題

- (1) 審議番組の放送内容について
- (2) 次回の開催日程
- (3) その他

5 議事の概要

放送及び、局全般についての意見を求めた。

6 審議内容

(1) 審議番組の放送内容について審議番組

番組名	一生一緒に立正大学
放送日	12月27日(火)16時00分～16時54分
ゲスト	立正大学社会福祉学部学生・新井利民先生
担当パーソナリティ	久石舞子

(委員)冒頭の「ちくわ研」の説明があって良かったが、「オレンジリボン」を知らず後で調べた。

大学生がラジオに出ることに意義があると思う。

大きな夢を持った学生が語れて良かった。

(委員)学生たちの人柄が分かる内容だった。

若い人が、自分の言葉で誰かのために何かやろうということが伝わってきた。

学部ごとで新入生のサポートを行っていることが良いことだと伝わってきた。

大学の中に子育て支援センターがあることを初めて知った。

お便りが親御さんからだったが、一緒にラジオに参加している感じがして良かった。

(委員)曲間で人が入れ替わるなどの構成が良かった。

パーソナリティとのやり取りがスムーズだった。

地域と学生の繋がりを感ずることができて良かった。

(事業者)はじめは緊張していたが、今は良くなってきている。

出演している学生たちは入れ替わっているが、良い経験になっていると思う。

台本は用意していないが、入念な打ち合わせを行っている。

(委員)しゃべりがスムーズで耳に入りやすかった。

ナビゲーターが同じ大学の卒業生ということで、やりやすかったのかな?と思った。

学生と一般市民の繋がりが少ないと思っていたが、地域の施設研修などで触れ合っていることが伝わり、市民にとっても身近に感じたのではないか。

地域の人にもっと大学のことを知ってほしいと思った。

(事業者)コロナ前にも大学の番組をやっていたがコロナ蔓延となり中断してしまった。

新井先生からの熱い思いで始めることができた。

地域の大学のPRにもつながっている。

若い人たちも頑張っていることをネットではなくラジオで伝えることに意味があると思う。

(委員)今回の放送内容など大学本体へ伝えてはどうか?

(事業者)伝えたいと思う。

(2) 次回の開催日程

令和5年4月下旬を予定。

- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
審議番組の制作会議を実施し、番組構成の協議を行った。(令和5年1月25日)
- 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表
公表の方法
- ① 自社放送
 - ② 自社ホームページ(<https://fmkumagaya.com>)への掲載
 - ③ 事務所への据え置き
- 公表の内容
審議内容の要約
- 9 その他参考事項
特になし。